CLA Award 2022

優　秀　賞

①

川口市立グリーンセンター 遊育の森づくり

株式会社グラック
北川明介・井野貴文・西山秀俊・岸井悠子・藤田芽衣

川口市立グリーンセンターは、1967年に地域の農業（園芸・造園）の振興と都市緑化の啓蒙を目的として設置された総合公園である。

供用開始後約50年が経過し、園内施設の老朽化問題の解決も含め、少子高齢化や都市災害の頻発など、公園を取りまく時代的・社会的条件の変化の中で、次の50年に向けた公園の再興が求められた。本作品は、この活性化計画を具現化することを目的として行った設計施工一体型プロジェクトの成果である。

設計コンセプトとテーマ・デザインの取り組み

川口市からの設計要求事項は、①子育て支援、②環境保全・活用、③防災拠点の3点であった。これらに応え、実現化を目指し、「遊育の森づくり」を公園デザインの基本コンセプトとし、機能的要求に応えるだけではなく、風景として顕在化することを目指して、「公園を地域に開く」「森と人をつなぐ」「まちを支える」の3つのテーマで風景デザインに取り組んだ。

「公園を地域に開く」

地域に開かれた公園として、目に見える景を再構築する必要があると考えた。エントランス広場の眼前に180度ホリゾンタルに広がる芝生広場を配置して、広がりと奥行きのある緑の景を地域に開いた。また、芝生広場は園内の施設と連結するハブ空間（結節点）としての役割を果たしている。

「森と人をつなぐ」

子育ての環境としてだけではなく、都市化が進行する街に暮らす市民にとって、自然との触れ合いはきわめて重要であると考え、敷地に残る地形、植生、水環境などの「地」の資源を活かした自然とのふれあいの場を創り出した。

「まちを支える」

地震や水害などの自然災害が頻発する時代にあって、水と緑の環境が持つ雨水流出抑制や温暖化の低減、生物多様性保全機能などの環境保全機能を最大化し、地域にとってのグリーンインフラとなる公園づくりを目指した。

2020年4月、新型コロナウイルス感染が広がりを見せる中で始まった設計であったが、2022年1月末に竣工し、同年2月に開園に至っている。5月の連休では公園入口に長蛇の列ができるほどの賑わいを見せ、現在も休日平日問わず賑わいは衰えていない。

このような賑わいを見せる公園であるが、シートを広げ家族団らんを楽しむ風景を見ていると、親と子が語らい心を通わせる場、そして世代を超えて自然を感じ、癒される場として重要な役割、すなわち「公園の本質的価値」に改めて気づかされる。本設計で得た多くの知見は、公園の管理運営と今後の再整備設計に活かされていくものと確信している。

作品概要

作品名――川口市立グリーンセンター　遊育の森づくり
所在地――埼玉県川口市新井宿
発注――川口市
設計――株式会社グラック
設計協力――〈シェルターデザイン〉浅香信太郎（浅香信太郎デザイン室一級建築士事務所）
〈昆虫の森整備アドバイス〉彦坂洋信（株式会社地域環境計画）
〈大型構造物構造設計〉蟻坂初二（株式会社企工社）
〈電気設備設計〉渋谷満（エム設備設計）
〈機械設備設計〉森田功（パディウッドデザイン）
施工――株式会社テラヤマ
監理――株式会社グラック
設計期間――2020年4月～2021年6月
施工期間――2020年7月～2022年3月
規模――約2.2ha
主要施設――冒険の森（フィールドアスレチック）、ちびっこ広場（未就学児対象）、いきいき広場（健康遊具）、芝生広場、昆虫の森（森の回廊、バタフライガーデン、ひだまりテラス等）、災害対応施設

作品評

本作品は、川口市立グリーンセンターにおいて、現況の環境を活用した魅力づくりとともに、市が抱える課題である子育て支援や防災の強化に対応するために一画を再整備した業務である。

応募者は、その3つの課題について個々に解決を図るのではなく、複合的な利用用途を検討し、「公園を地域に開く」、「森と人をつなぐ」、「まちを支える」という明快なテーマのもとに、トータルにデザインすることで再整備を実現している。さらに、with コロナやグリーンインフラなどの社会的な動向も踏まえて、対象地の今後のあり方を検討した上で設計に反映されていること、デザインビルドによる設計施工の取組では応募者が中心的な役割を果たしている点なども評価された作品である。

このような一貫した取組により、高揚感あるエントランスと広場、森の環境に調和したフィールドアスレチックや林内をめぐる回廊などが形成され、こどもたちはワクワクする体験ができ、大人も楽しめる魅力的な「遊育の森づくり」となっている。

②

③

④

⑥

⑤

①森の中につくられた遊び場「冒険の森」　②エントランス広場の前に広がる芝生広場　③ハブ空間としての役割を果たす芝生広場
④森と一体となった遊具　⑤避難時の活動拠点となるシェルター　⑥生きものや植生を観察できる昆虫の森